

会社の雰囲気²⁰⁰⁹を1W 明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することになりました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐々

会議の質を高める習慣

予定のない休日、気付いたら何もしないまま夜になっていた。といった経験はないでしょうか？ 普段もっと時間があればな～と思っていても、いざ時間があるからといってそれを有効に使えていないことがよくあります。

それは仕事でも同じ。お客様との打ち合わせ、社内会議、個別面談の時間を十分確保したのに、何も結論も進展もないまま、気がつくタイムオーバー。

逆に30分ほどしか時間がない時に打ち合わせを行ったら、意外に時間内であっさり決まり、時間が余った、ということはありがちなことです。

我々はよく「時間がない・・・」とっていますが、実は単に時間の問題ではないことが多々あります。たとえば冒頭の休日の過ごし方も会議も目的があるかないかで、時間の長さではなく充実度合いや成果が生まれます。会議であれば、議題があるかないか。休日はいざ知らず、仕事では、成果が問われてしまうので、時間があるかないかは言ってられません。しかし実際は**議題があれば、時間の長さは関係なくなる**・・・ことがあるのです。

議題と言われても、その準備に時間もかかりそう・・・と思われる方がいらっしゃいますが、実際やってみるとその準備に要する時間はたった5分程度。

というのも私も以前は、議題など用意せずに打ち合わせをしていました。時間ばかり掛かるか、あるいはタイムオーバーで、なんとなく後味の悪い、消化不良感を抱いて会議を終えるということが多かったのです。しかし、議題を用意して臨むようになってから、そのようなことはなくなりました。元来面倒くさがり屋の自分だったので、議題を用意するのも億劫でしたが、**最初の3回、意識して議題を作る**ようにしてみたのです。すると、その打ち合わせの質の違いが実感でき、その後は自然と習慣化していくようになったのです。では面倒くさがりの私が用意する議題とはどんなものかと言えば、

■ 12月11日(金) 14時～15時

1. 連絡事項の確認
2. 前回話したA社の営業アプローチ結果と改善策
3. B社新規案件の問題点と対策について
4. 次回の予定(日時、内容)

という感じです。それを紙に書いて、全員が見えるようにします。すると話が脱線した場合でも「その件は次回の検討事項としてあげておきまね、今日は時間もあと残り少なくなっているので、議題に戻ってもよろしいですか。」と発言すれば、自然と話が本論に戻ってきます。自分の時間だけでなく相手の時間も充実させる一石二鳥の習慣なのでは？ と思う次第です。